



おにぎり通信

2022年4月9日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷、銀座、日比谷、秋葉原、日本橋、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

疫病・地震災害・異常気象の三重苦で、日本国民が苦しんでいる。今の話ではなく、一千年以上前の天平時代のことです。当時の聖武天皇は、この苦しみを取り除こうとして、大仏建立を決めました。今日は、大仏の日です。天平勝宝4年(754年)4月9日に、奈良の大仏の開眼供養が行われました。奈良の大仏は、世界そのものとされる盧舎那仏です。何をしても状況が良くならない中で、今までにない巨大な仏を造って、国民みんなで拝もうとする。奈良の大仏建立は、そんな国家の運命をかけた大事業でした。

奈良の大仏を見ると、その巨大さに圧倒されます。高さは15mありますが、現代の日本や世界には、これを遥かに超える大きな仏像がたくさんあります。日本で一番大きな牛久大仏は高さ100m、台座を入れると120mという高さで、大阪の通天閣(108m)を超えます。世界では、中国にある魯山大仏が128m(台座を入れて208m)で一番大きく、牛久大仏は世界で3番目です。人知を超えた、何か大きなものにすがろうとするのは、人の世の常のように思います。

福祉行動を希望の方は、おにぎりを配る時に、お声がけください。

病院や生活相談等で、福祉事務所に行くことを希望される方は、おにぎりをお渡しに伺った際に声がけ下さい。毎週土曜日の訪問活動の時に声がけ頂いた場合、翌週以降に福祉事務所まで同行します。

中央区福祉事務所・中央区築地1-1-1 中央区役所4階


千代田区福祉事務所・千代田区九段南1-2-1 千代田区役所3階


生活保護を受けずに使えるのが「自立支援センター」です。路上で生活している方が、一時的に住む場所が得られ、仕事をして自立するための手伝いが受けられます。千代田区・中央区・新宿区・港区で順番に運営しており、現在は千代田区に千代田寮が置かれています。

自立支援センターは、「生活困窮者自立支援法」という法律によって、「住むところがない生活に困っている人に、しばらくの間の泊まる場所や食べるものなどを用意する」事業です。政府は、この法律を見直しており、「生活に困っている方等に対し、一人ひとりに寄り添ったきめ細かなサービスを提供する」という方針を掲げ、自立支援センターのような事業がより活用されるようにしようとしています。

自立支援センターは、長くて6ヶ月住むことができ、利用した人の多くが1ヶ月以上居ます。利用した人の3分の1が仕事を見つけて自立し、3分の1が生活保護などの福祉を利用して住む場所を確保しますが、残りの3分の1は、センターを出て路上での生活に戻ってしまいます。自立支援センターを一旦利用した後に生活保護に移る人の割合は、全体の4分の1ぐらいです。

自立支援センターや生活保護など、路上で生活している人向けにはいろいろな制度があります。神奈川県座間市には、「チーム座間」と呼ばれている地域ネットワークがあり、「断らない相談支援」を掲げています。どんな相談も、まずは断らずに受け止めて、一人ひとりに寄り添いきめ細やかに課題に対応しています。四ツ谷おにぎり仲間も、皆さんがお困りのことをしっかりと受け止めていきたいと思しますので、どうぞご相談ください。

 おにぎりを包むラップや読み終わった通信は、放置せずゴミ箱へ

 おにぎりは、お1人1個で、その日のうちに召し上り下さい



四ツ谷おにぎり仲間 千代田区麴町6-5-1 聖イグナチオ教会
連絡先 080-7967-8672 (連絡可能時間 毎週土曜日午後3時~6時)